

## 公設民営方式による海上アクセスについての調査結果概要(令和2年3月)

		案1	案2	案3	
船型		高速船		ホーバークラフト	
発着地	空港側	海際部	中間部	空港ビル前	
	大分市側	大分市西大分		大分市西新地	大分市西大分
利便性	想定最高速度	約30ノット(時速55km)→片道約40分		約45ノット(時速83km)→片道約25分	
	想定便数	1日25便(12.5往復)		1日29便(14.5往復)	
	空港側接続	乗継ぎバス (約750m)	動く歩道 (約250m)	徒歩 (約40m)	
導入	県負担額	約115～120億円	約195～200億円	約75～80億円	約80～85億円
	整備期間	約11～12年間	約11～12年間	約3～4年間	約3～4年間
年間利用者数見込み		約30万人台		約30～40万人台	
継続性	収支確保の条件	船舶貸付料の減免で収支確保可能		船舶貸付料と発着施設使用料の減免で収支確保可能	
	部品調達	汎用品が多く、長期的にも調達が比較的容易		ホーバークラフト固有部品の長期的な調達手段の確保が必要	
環境	発生音・水しぶき	発生音が小さく、水しぶきも少ないため対策は不要		発生音、水しぶき対策として発着地に遮音壁を設置	
バリアフリー		車椅子対応可能		車椅子対応可能	

県負担の主な内容

案1・2: 高速船3隻(常用2+予備1)、空港側港整備、西大分側防波堤設置・埋立て、駐車場整備、浮桟橋整備等

案3: ホーバー3隻(常用2+予備1)、旅客ターミナル、整備庫、散水施設、防音施設整備、駐車場整備等

県負担額は、船舶貸付料や発着施設使用料の減免を含む